

沖縄県 南城市

南城市地域雇用創造協議会



ニライカナイ橋

亜熱帯特有の一次産品の再発掘、及び点在する聖地のイメージと合致する加工商品の開発をコーディネートしながら事業者連携の促進を図り、地場産業の活性化による雇用の創出を目指す。

南城市は、沖縄本島南部に位置し、総面積の9割が農業振興地域である。農業を基幹産業として発展した地域であるが、農業従事者の高齢化や新規就農者の不足、これに伴う耕作放棄地の増加が課題となっている。また、世界遺産の「斎場御嶽(せーふあうたき)」をはじめとした観光施設を有しているが、観光客の多くが主要な観光施設に集中し、市内滞在時間が短く、観光収入に繋がっていない。こうした課題を解決するため、県の拠点産地の認定を受けている「薬用作物」を活用し、営農者の育成や、観光消費を促す土産物、観光体験メニューの開発等を行い、雇用機会の拡大を目指す。



「聖地ブランド創出事業」南城市産一次産品と六次化商品の付加価値増大による雇用創出

1. 地域の特徴及び事業の概要

■ 地域の特徴

人口	H22 39,758人	H27 42,016人			
労働力人口	H22 19,227人	H27 19,903人			
有効求人倍率 (季節を除く一般)(パートを含む)	H24 0.16	H25 0.26	H26 0.34	H27 0.52	H28 0.56
産業構成(就業者数) (平成27年度国勢調査)	第1次産業 1,719人	第2次産業 3,230人	第3次産業 13,194人		
産業振興において重点的に取り組んでいる分野	■農業分野 ■食と観光分野				

■ 事業の概要

協議会名	南城市地域雇用創造協議会
協議会の主な構成団体	南城市、南城市観光協会、南城市商工会
委託費総額	〈実践型事業〉207,480(千円)
主な事業	【雇用拡大メニュー】■農商工連携による事業開拓／新商品開発セミナー ■実践メニュー公開セミナー 【人材育成メニュー】■ハーフインストラクター養成セミナー ■琉球菓膳／食品加工衛生管理セミナー ■一次産業従事者／ハーブ営農者養成セミナー 【就職促進メニュー】■合同企業説明会 【雇用創出実践メニュー】■南城ブランド商品展開／加工商品開発事業 ■観光体験メニュー開発事業

2. 地域の課題と事業実施のねらい

■ 地域の課題

【基幹産業である一次産業の衰退と低所得】

本市の基幹産業である一次産業の衰退が深刻化している。後継者不足による高齢化、農業人口の減少に伴い増加する耕作放棄地など、一次産業離れに歯止めが効かない状況となっている。また生産される農作物もごく一般的で、独自的な取り組みや希少性も特筆するものが少ないので、ブランド化された競争力の高い農産品が極めて希薄な状況である。

【低迷する観光客の消費額】

世界遺産に登録された「斎場御嶽」をはじめ、美しい自然景観や琉球開闢神話に基づく遺跡が散在する本市は、入域観光客数が年々順調に推移する一方、訪問地の一極集中や過剰な観光が主力であることから消費機会が限られているという課題がある。

■ 事業実施のねらい

【雇用創出実践メニュー】

新種ハーブ等を試験栽培しマニュアルを作成。農家や新規就農者に公開する。同時に関連加工商品や体験メニューの開発、プロモーション活動を展開し、販路先の確保、地域事業者の連携促進、ブランド化をサポートし地域の課題を克服する。

【基本メニュー】

実践メニューの事業計画や進捗、抽出課題に合わせたセミナーを企画／実施し事業効果増幅を図る。実践メニューとセミナーにより創出される雇用のマッチング機会は、合同企業説明会で提供する。

3. 事業内容と成果

■ 事業全体

●主要産業である①農業分野②食と観光分野を重点分野に設定し、市の雇用面における課題解決に向けた取り組みを実施する。地域特性を活かした南城ブランドの展開により、市内一次産品の付加価値を高め、産業振興・雇用機会の創出を図ると同時に、地域求職者の人材育成を行うことで、求職者側と事業所側の両面から対策を施し、雇用情勢の改善を図る。平成28年度よりスタートした本事業であるが、着実に地域に根付いた事業として定着してきており、事業所の活性化、及び地域求職者の人材育成を通じ、雇用の場を創出している。



中核人材育成セミナー

■ 雇用拡大メニュー

●地域事業所において脆弱とされる商品開発力や情報発信力を強化するための「農商工連携による事業開拓／新商品開発セミナー」「デジタル／アナログ併用商材販促セミナー」を、また実践メニューの成果物を公開する「実践メニュー公開セミナー」を開催した。このうち新商品開発セミナー、商材販促セミナーは、実践メニューの事業効果増大を図るために、公開セミナーにて発表される成果物や、実践メニューの事業計画に関連する内容で研修内容を企画・講師選定を実施した。結果、事業所が成果物を引き継ぐ際の経営面、販促面での後押しをすることができた。



ハーブ営農者養成セミナー

■ 人材育成メニュー

●人材育成メニューは、地域事業所が求める社会人としての基本スキルを習得する「ビジネススキル向上セミナー」と、実践メニューの提案商品引継ぎ事業所にて力を発揮するための「実践型専門技術力向上セミナー」に大別される。「ビジネススキル向上セミナー」は「ITビジネススキル基礎セミナー」「即戦力／中核人材育成セミナー」「外国人接客対応技術育成セミナー」を実施し、「実践型専門技術力向上セミナー」では「ハーフインストラクター養成セミナー」「琉球菓膳／食品加工衛生管理セミナー」「一次産業従事者／ハーブ営農者養成セミナー」を実施した。各セミナーとも実践的な指導を心掛けたことにより、高いスキルが必要とされた地域事業所への就職や創業に繋がっている。またセミナーに参加した受講者に対し、合同企業説明会への参加も促すなど、地域事業所とのマッチングにも取り組んだ結果、就職に結びついた人材も存在した。



合同企業説明会

■ 就職促進メニュー

●求人企業と地域求職者のマッチングの機会を提供すべく、合同企業説明会を開催した。参加者(参加企業含む)から特に好評だったことは、地方都市でマッチングイベントが開催される点、キャリアカウンセラーを配置し、就職相談窓口を開設した点、紙面では伝わりづらい企業理念や社訓、業務内容の詳細が話せる点、休日や勤務時間など、自身の勤務条件の相談が対話形式で行える点、求人広告掲載より採用率が遙かに高い点などが挙げられた。また、雇用創出実践メニューの提案商品引継ぎ事業所が合同企業説明会に参加し、人材育成セミナーで専門的なスキルを習得した求職者が面談を受け、見事採用に繋がるなど、本事業における他メニューとの連携も図り、実績に結び付いた好事例も存在した。合同企業説明会は互いに十分な対話が可能であることから、雇用のミスマッチ改善に繋がりやすいと言える。



由芋マカロン

【雇用創出実践メニュー】

●衰退する一次産業の活性化を図るため、①付加価値が高い一次産品の選定を実施
 ②選定された有用作物の試験栽培を実施、③栽培結果の検証・マニュアルを作成 ④既存／新規就農者に栽培の推奨を実施した。また、栽培品の需要増大に向け ①一次加工処理（年間供給を見据えた長期保存加工処理）を実施、②加工商品開発（食品・雑貨類）
 ③地域加工事業所向けに試作品公開 ④商品化へのフォローを実施した。その上で開発商品のプロモーション活動（雑誌・テレビ等メディア取材対応、食品関連展示会への出展）を行い、認知度の向上と販路の拡大に努めた。事業を通じ新作物の栽培に取り組んだ農家は、収入が大幅に減少する夏季の売上が安定し、従業員の採用に至ったケースや、商品プロモーションに触れた県内外事業所との取引が新たに生まれ、商品流通が活性化した加工事業所も存在するなどの事業成果が見られた。

ポイント

実践メニューの進捗状況や課題を常に実働員全体で把握・共有し、基本メニューの企画・運営を行ったため好連携が実現され、事業効果の拡大に繋がった。



南城タコライス&ハーブソース



ハーバルバスソルトづくり体験

■アウトプット指標

	平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
雇用拡大	-	-	-	35 社	67 社	191.4%	45 社	-	-
人材育成	-	-	-	120 人	134 人	111.7%	165 人	-	-
就職促進	-	-	-	60 人	164 人	273.3%	95 人	-	-

■アウトカム指標

	平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
就職創業者数	-	-	-	46 人	73 人	158.7%	69 人	-	-

成果物の紹介

■熱帯産ハーブ バタフライピー

協議会では高齢化により衰退する一次産業の復興を目指し、亜熱帯で栽培される奇跡のハーブ「バタフライピー」に着目。保有する圃場にて試験栽培に取組み、亜熱帯の北限である沖縄の気候や地質、風土に合わせた栽培方法を検証した。検証データはマニュアル化し、既存農家や新規就農者に公開しながら、バタフライピーの生産普及に努めた。また、生産されたバタフライピーの販路を確保し、生産基盤の強化を図るべく、関連加工商品（食品・雑貨類）開発を地元加工事業所と共に進めた。さらに、観光体験メニューにもバタフライピーを取り込むなど、流通体系の構築におけるコーディネート業務も行った。

■乾燥バタフライピー

バタフライピーの最盛期が高温多湿となる夏場であることから、僅かな期間とはいえ冬季の原料供給に不安を残すため、原材料の年間安定供給と長期保存を可能にすることが急務であった。そこで、バタフライピーの一次加工（乾燥）を提案し、地域事業所で加工販売をスタートさせた。当然のことながら原料の供給は、協議会の働きかけを通じ本格的な生産に取組んだ農家の生花を使用している。また乾燥のみならず、生花販売の流通ルート開拓にも着手し、県中央卸売市場経由で県内全域への出荷が行われているほか、現在は県外からの受注対応に備えている。

■バタフライピー入り「ミントエンザイム」

国際オーガニックテクニカル協会認定農場にて栽培されたミントを使用した酵素に、市産さとうきび酢、バタフライピーを混合させたミント酵素エキスを開発した。炭酸水や泡盛などのアルコール類で割って味わえるほか、サラダのドレッシングとしても利用できる。県内最大級の食のイベント「おきなわ花と食のフェスティバル」で試飲会を行った際には、各方面から好評価を頂き、年度内での市内加工事業所による商品化が既に決定している。



バタフライピー(生花)



バタフライピー(乾燥)



ミントエンザイム

■バタフライピージュレート

沖縄の綿碧の海をイメージさせる、バタフライピーを使用した天然ハーブのブルーが目を引く逸品。県内有数の生乳（牛乳）生産量を誇る南城市の搾りたて新鮮ミルクと、バタフライピーの生花から抽出されたブルーハーブエキスが絶妙なハーモニーを奏ぐるジュレートを開発した。既に地域事業所が販売を開始しており、12月には新店舗がオープンするなど売れ行きも好調！なお、店舗スタッフの募集/採用は就職促進メニュー「合同企業説明会」を通じ実現され、本成果物が雇用創出にも繋がる好事例となった。



バタフライピージュレート

■ハーバルバスソルト／ハーバルバスソルトづくり観光体験

観光体験メニュー／や雑貨の商品開発においても、地元の一次産品を活用することを念頭に事業を企画／推進している。本ハーバルバスソルトは、神の島「久高島」で生成された海水塩と、地元農家が無農薬で栽培するハーブをフレンドした100%天然素材で作られた商品。ハネムーンの手作り引出物や、リゾートホテルのアメニティとしての取扱いが予定されている。平成29年度実践事業シンポジウム成果物コンテスト特別賞受賞。



ハーバルバスソルト

4. 事業推進において生じた課題と解決に向けての取組

基本メニュー

【課題】

- アウトカム確認の際に連絡がつかず、セミナーや合同企業説明会参加後の就職状況が不明な利用者が存在する。

【解決に向けての取組】

- 参加者の携帯電話に協議会の電話番号を登録させることで、不在着信元が協議会であることを認識させた。結果、折り返しの連絡がもらえるようになった。
- 事業利用者にメールアドレスを登録してもらい、就職状況についての情報提供依頼を定期的に実施した。メールだと時間の制約なく返信がもらえるため効果的だった。

実践メニュー

【課題】

- 協議会にて開発/提案した商品が市場にて販売されるものの、原材料の年間供給量が不安定な商品が一部存在する。

【解決に向けての取組】

- 一次産業従事者向けに積極的な声掛けを実施している。また、人材育成メニューを活用し、関連農家への就職の促進や、新規創業者を育成する等の対応を進め、生産量の増加、安定化に努めている。また、生産物の乾燥加工や冷凍管理の保存技術の平準化、及び導入を推進し、通年安定供給の体制づくりに力を入れている。

5. 地域の声

【協議会担当者】

本事業を進めながら、最も大きなやりがいを感じるのは、事業者や求職者から「ありがとう！」と感謝の言葉を頂くことが多い点です。また、自分が開発した商品が店頭に並んでいたり、さらにその商品を販売する店員が人材育成研修の事業利用者だったりした時の喜びは一入です。地域に貢献できる素晴らしい誇りを胸に、日々の業務に取り組んでいます。



【行政担当者】

本会の目的である農業従事者の拡大と、聖地が点在する地域特性を生かした付加価値の高い南城ブランド確立と特産品開発に向けて着実に歩んでおり、「新規就農者セミナー」受講者が所有する調理師免許との関連で「農家レストラン」の開業を目指す方が誕生しています。また、実践メニューのハーブを活用した成果物の評判も良く、市代表する特産品の誕生が期待されます。



【連携企業】

搾乳したばかりの新鮮ミルクを使ったジェラートを加工販売し、六次産業化を推進していますが、雇用創造協議会から提案のあった地元農産品をミックスしたジェラートの取扱いも始めました。おかげまで大人気で、売れる商品となっています。そこで新店舗をオープンさせましたが、従業員は合同企業説明会にて採用しました。地域事業所にとって大変助かる事業です。



6. 事業終了後の取組と今後の方向性

【雇用機会の確保】

今後、雇用創造事業にて実施してきたセミナーや合同企業説明会等の効果を検証しつつ、必要な事業については実施を断続することで地域の雇用を確保していかたい。また、地域事業所からも事業の継続、あるいは同様の地域商社立上げを望む声が多く、事業実施メンバー等による法人立上げの支援を実施するなど、地域の経済活性と雇用機会の創出を担える組織づくりも視野に入れている。